

善了寺ニュース2月号

今月の主なメニュー

- 1, 善了寺日記
- 2, 行事案内
- 3, お知らせ
- 4, 還る家ともに日誌

発行責任：浄土真宗本願寺派
善了寺住職 成田智信
第212号
発行日：平成26年2月1日

善了寺日記

寒暖の差がはげしい今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

親鸞聖人のお言葉

年明けの一月中旬は、京都のご本山で親鸞聖人の御正忌報恩講がおつとまりになります。私も鎌倉組のご縁で毎年、お参りさせていただきます。今年は、京都の御正忌のあと、築地本願寺の定例法話会講師のご縁を頂きました。週末のご縁でしたので、調整が大変でしたが、三泊四日集中して学ぶことができ本当にありがたい時間でした。いつも、ご本山の法話もそうですが、『拝読 浄土真宗のみ教え』を中心におつとめさせていただきます。

学びの中で、親鸞聖人のお言葉に出遇わせていただきました。少し長いのですが引用させていただきます。

「そもそもみなさんは、かつては阿弥陀仏の本願も知らず、その名号を称えることもありませんでしたが、釈尊と阿弥陀仏の巧みな手だてに導かれて、今は阿弥陀仏の本願を聞き始めるようになったのです。以前は、無明の酒に酔って、貪欲（むさぼり）・瞋恚（いかり）・愚痴（真実がみえないこと）の三毒ばかりを好んでおられました。阿弥陀仏の本願を聞き始めてから、無明の酔いも次第に醒め、少しづつ三毒を好まないようになり、阿弥陀仏の薬を常に好むようになっておられるのです。ところが、まだ酔いも醒めてないのに重ねて酒を勧め、毒も消えていないのにさらに毒を勧めるようなことは、実に嘆かわしいことです。煩惱をそなえ

た身であるからといって、心にまかせて、してはならないことをし、いってはならないことをいい、思ってはならないことを思い、どのようにでも心のままにすればよいといいあっているようですが、それは何とも心の痛むことです。酔いも醒めないうちに酒を勧め、毒も消えないうちにますます毒を勧めるようなものです。薬があるから好きこのんで毒を飲みなさいというようなことは、あってはならないと思います。」『親鸞聖人御消息 恵信尼消息（現代語訳版）』九頁～一〇頁

※ルビ・（ ）内は住職の注釈です

現代語訳いただきました。それほど難しくないので、何度か読み返していただきながら、味わってまいりましょう。現代社会は、煩惱が複雑に重なりあいて世界と直結していると思います。だからこそ、社会のあり方と私の生活は決して切り離すことができません。煩惱を精神的な問題だと小さくとらえれば捉えるほど本質が見えなくなっていくと思うのです。お釈迦様と阿弥陀如来様の巧みなおはからいによって、お念仏を生活の中にいたたく身とならせていただいていたお互いです。複雑な煩惱のあり方に迷わされ続ける無力なお互いですが、お念仏申す中に、気づかせていただいた私の現実を大切に学ばせていただきます。

償うことや、やり直すことはできない現実が多いのかもしれない。それでも、念仏申し共にも浄土でまた、会いあうお互いと頂くとき、日常の日暮しを見直す機会はたくさんあるのだと思います。支えあって、知恵を出し合って、歩んでまいりましょう。無力なお互いが、傷つけあうほど心が痛むことはありません。私が煩惱具足の凡夫であるからこそ、阿弥陀様は、お念仏となつて、私たちの生活の中にあらわれて、往生浄土の道を示してくださいます。往生は私の人生を照らす道でした。



◎是非、定例法話会等、お参りください。合掌

◎是非、定例法話会等、お参りください。合掌

住職雑感

◎築地本願寺のご縁は、思い出の場所でもあるので、ありがたうご縁でした。それでも、東京都知事選の最中ということもあり、あらためて、親鸞聖人のお言葉が、現代を生きる私たちの灯となると思いました。

◎十六日の輪読会、御門主のお言葉を味わっています。ありがたいです。是非、ご参加ください。途中参加大歓迎です。

仏教女性会 ふじの会

今年初めての仏教女性会「ふじの会」です。是非ご参集ください。



日時
2月17日(月)
午後2時～

死も超えて仏となる身であるといたとき、次の世代を無視して今の生活を営むことはできません。エネルギー問題や経済問題、環境問題など山積する問題は、お念仏を唱えたらなくなるのでは決してありません。しかし、お念仏を称え、阿弥陀如来様の願いを聞き続けていく聴聞の生活を送らせていただくとき、無力な私たちが謙虚に問題に向きあう深い知性と、慈悲のこころを大地とした豊かな感性を育ててくださるのです。「愚者になる」とは、深く豊かな、念仏の功德なのです。

今、激動の時代にあつて、是非お念仏のみ教えを聞いていただきたいと思います。新しい年間行事のご案内もさせていただきますが、今年も定例行事に加え、皆さんとともに聴聞を大切に、自分を育てる機会を多くいただけて参りたいと思います。是非一緒に寺の活動を進めてまいりましょう。

平成26年2月・3月の行事予定

定例法話会 2/8(土)14時
住職自勤

親鸞聖人・浅井成海先生月命日

2/16(日)9時

引き続き『愚の力』輪読会※途中参加大歓迎です。輪読会は9時40分頃から11時ごろまで開催しています。

女性会「ふじの会」例会 2/17(月)14時

2月のカフェ・テラ・テラ

テラ・ヨガ教室※今年は原則第1水曜日と第4土曜日に開催します。

詳細はお寺まで

2/5(水)10時

2/22(土)18時30分



定例法話会 3/8(土)14時
本願寺派布教使 高見沢孝之 師

親鸞聖人・浅井成海先生月命日

3/16(日)9時

引き続き『愚の力』輪読会

春季彼岸会期間

3/18(火)～24日(月)

期間中毎日 10時・14時 法要

詳細 次号



いっぱい泣いて いっぱい笑って

ふれあいデイサービス「通る家とともに」

介護保険事業所番号 1471001428

毎週 月曜日～土曜日まで

時間帯 午前9時30分～午後4時10分

